

反転が生み出す“実践”論文執筆のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

オーガナイザ：小西 達裕（静岡大学），光原 弘幸（徳島大学）

JSiSE 学会誌編集委員会ではこれまで、全国大会プレカンファレンス企画として、チュートリアル“編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門”を実施してきました。

チュートリアルコンテンツ（解説資料やビデオ） <http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- 論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- 論文種別と採録基準ー現状と改訂の方向性ー
- 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

そして昨年度、これまでのチュートリアルコンテンツを有効活用し“反転”を取り入れたディスカッションベースの論文投稿入門を実施しました。新しい試みではありましたが、参加者が編集委員と執筆上の悩みや解決策について議論し、執筆のヒントを得られる有意義な企画であったと思っています。

今年度も引き続き、反転+ディスカッションベースの論文投稿入門を実施します。特に今年度は、本会誌の特徴でもある実践論文に焦点を当て、実践論文投稿をしたことが無い方、研究をまとめたのだが実践論文として求められるレベルがよくわからないという方、実践研究を進めるうえでのポイントやヒントが得たい方のほか、実践論文査読の考え方を整理したい方を主な対象としたいと思います。

本会誌への論文投稿を検討しており、論文執筆について編集委員（Adviser）から直接アドバイスをもらいたい方（Advisee）には、

- 事前にチュートリアルコンテンツを閲覧していただいた上で
- チュートリアル当日、投稿検討中の研究内容や論文執筆での悩みをプレゼンしていただき
- 学会誌編集委員と個別に議論して、論文にまとめる上での悩みの解決につなげていただきます

Advisee には事前に参加希望を提出していただきます（希望多数の場合は学会誌編集委員会で選定させていただきます。また、事前に発表スライドなどの資料をご提出いただく場合もございます）。また Advisee でない方のご参加も歓迎いたします。レスポンスシステム、コメントペーパー等を使って Advisee の質問にご意見をいただいたり、編集委員への関連質問をしていただくことを予定しています。また単に Advisee のプレゼンや編集委員との議論を聴講していただくだけでも、ご自身の論文執筆に役立つと考えます。学生や若手研究者をはじめとした多くの方にご参加いただければ幸いです。